

もっと
いいね!
が、
生まれる
まちへ。

田村ひろゆき通信

発行：田村ひろゆきとわかりやすい政治をつくる会
〒188-0013 西東京市向台町6-5-4 info@tamura-h.net



いいね！西東京

2018.

7

1978(昭和53)年西東京市生まれ。田無向ヶ丘幼稚園、上向台小学校、田無一中、中央大学杉並高校、中央大学法学部卒。元衆院議員秘書、元武蔵野大学職員。2014年12月の市議会議員選挙に初挑戦するも及ばず。現在は都内の旅行会社に営業職として勤務しながら、捲土重来を期して活動中。

西東京市は、いいまちですか？

都心に出るにはまあまあ便利だし、自然もある程度残っているし、買い物するのもそんなに困ってないし。特別不満はないけれど、いいまちです！と言えるほどじゃない。

たまたま生まれた西東京市。たまたま引っ越して来た西東京市。このまちが、どんな未来に向かうのかはよくわからないし、関心もない。でも、実際毎日このまちで暮らしているし、税金もしっかり取られてる。

合併から18年たっても、市役所は分かれたまま。庁舎統合は先送り。中央図書館、田無公民館の合築問題は、市民不在のままで迷走中。政治と市民の距離は遠いまま。投票率は選挙の度に下がる一方。残念ながら「いいね！」と言える状況ではありません。

このまちを、もっとポジティブに、いいね！と言えるまちにしたい。ずっと住み続けたい西東京市にしたい。



議会を変えるチャンスが、やってきます。

前回4年前の選挙以後、中央図書館、田無公民館、市民会館の3館を合築し、現在の市民会館の敷地に建設するという話が突如として持ち上がりました。私を含めて市民にとって寝耳に水の計画であり、「三館合築の再考を求める」市民運動に参加することになりました。

三館合築問題、庁舎統合問題、そして西東京市のまちづくりについて取り組む中で見えてきたことは、**西東京市の行政運営が市民不在のまま進められている**ということです。

市民参加の手法としては、パブリックコメントがありますが、現状は単に市民の声を聴きましたというアリバイ作りになっている気がします。市側の回答は、市の考え方に合っているものには「その通りです」、市の考え方に沿わないものには「でも市はこう考えます」というだけ。**市民の意見を取り入れようという姿勢は見られません。**

議会の役割とは一体何でしょう。議会の役割は、市民を代表して市長(行政側)の提案をしっかりとチェックし、議論することです。

市長も市議会議員も市民の直接選挙で選ばれるので、地方議会に与党・野党は存在せず、お互いに緊張関係を保つ必要があります。議員、そしてそのバックにいる市民の納得が得られなければ提案が通らないと思えば、市長も市民の声を無視できません。しかし、その議会が、いわゆる「市長与党」化しているのではないかと危惧しています。

緊張感のある議会にするために、政党・会派の枠組みを超えて、市民のために議論できる議会にするために。4年に一度のチャンスが、やってきます。



田村ひろゆきのプロフィール

1978(昭和53)年7月13日 西東京市生まれ

1985(昭和60)年 田無向ヶ丘幼稚園卒園
家では「プラレール」で遊ぶのが大好き。

1991(平成3)年 上向台小学校卒業

1年生の時に両親が離婚。母子家庭として育ち、放課後は学童保育所に通っていました。



1994(平成6)年 田無第一中学校卒業
2年生の時に「いじめ」を経験。親や担任のサポートに助けられました。

1996(平成8)年
『だから、「いじめ」はなくなる』を出版
中学時代の経験をもとに、高校2年の冬に出版しました。

1997(平成9)年 中央大学杉並高等学校卒業

在学中の3年間、学級委員長を務めました。
クイズ研究会に所属し、「高校生クイズ」に出場したこともあります。

1999(平成11)年 議員インターンシップ運営団体
「I-CAS(アイカス)」立ち上げ

大学入学直前、大学の先輩にあたる市議会議員の活動を手伝い、政治を身近に感じたことが私の原点です。もっと多くの人が、政治家と直接触れ合う機会を持てば、政治不信や若者の政治離れといった問題は解決するのではないかと…と思い立ち上げました。活動は今も続いており、これまでに1800人の高校生・大学生を送り出しました。

2002(平成14)年 中央大学法学部政治学科卒業

2年時に藤本哲也ゼミ(犯罪学)、3・4年時に中島康予ゼミ(政治学)に所属。教職課程も履修し、中学校に教育実習に行きました。



2003(平成15)年 衆議院議員秘書として勤務
インターネット選挙やマニフェスト選挙に関する政策に携わったほか、一般市民から党の政策を募集する「インターネット市民立法」などに関わりました。

2007(平成19)年 武蔵野大学に勤務

地元・西東京市にキャンパスのある武蔵野大学に勤務。就職支援やキャリア教育を担当し、学生の成長と社会参加を応援しました。



2014(平成26)年
西東京市議会議員選挙に初挑戦
自らが政治家となり、政治と市民の距離を近づける役割を果たそうと、市議会議員選挙に初挑戦。多くの市民の皆様からご支援いただきましたが力及ばず。悔しい思いをしました。

2015年(平成27)年 都内旅行会社に勤務

法人営業担当として、海外出張や社員旅行の提案のため日々担当エリアの企業を訪問しました。営業成績が数字で出るシビアな世界でしたが、結果が出た時のやりがいも感じることができました。

2018年(平成30)年 捲土重来を期して活動中

地域活動 市政これだいいの会、まちづくりを考える西東京市民の会、西東京白門会 会員

趣味 旅行(特に鉄道の旅)、日帰り温泉めぐり

好物 すし、天ぷら、から揚げ、ラーメン、カレー



ポスター掲示のお願いです

写真のようなポスターが完成しました。
お相手になっていただいたのは小金井市議会議員の白井とおるさんです。

白井さんは私よりも3つ年上ですがほぼ同世代。無所属の立場から議会改革に取り組まれている、大変尊敬すべき議員です(そして私よりもイケメン!)。
今回、同様に無所属で挑戦する私のために、支援していただくことになりました。

白井さんは、駅頭で「噂のこがおもマガジン」と題した市政レポートを定期的に配布、「議会カフェ」「議会ナイト」等の名前で市政報告会を開催するなど、政治と市民の距離を少しでも近づけるための取り組みも積極的に行っています。

ご自宅の壁等に掲示していただける方がいらっしゃいましたら、ご一報いただければお伺いします(田村携帯:090-9686-4581)。よろしくお願ひいたします。



田村ひろゆきの考える「こんな西東京市にしたい！」

みなさんのご意見もお聞かせください

いいね! 西東京

庁舎統合問題に終止符を打つ

見通しのない「新たな用地」案ではなく、敷地の広い保谷庁舎で統合を。現在の田無庁舎には市民総合窓口(仮)を設置し、市民サービスを維持。

まちの顔となる教育・文化施設をつくる

統合庁舎建設後の田無庁舎敷地には、駅近の立地を生かして、図書館・公民館・市民会館の機能を備えた新たな教育・文化施設を。

議員の仕事を見える化する

議会基本条例を制定し、会派の壁を超えて「議会報告会」を開催。政務活動費の領収書はすべてネットで公開。議員報酬使途の自主公開。

安心して歩けるまちにする

見通しの悪い道路、段差や電柱等の障害物、歩道が狭く危険な踏切等を解消し、子どもからお年寄りまで、すべての人が安心して歩けるまちに。

子ども・若者の政治参加を進める

主権者教育の推進、子ども・若者の声を政策に生かす環境づくり。高校生・大学生の研修生受け入れ。議会発言もわかりやすい言葉で。

受動喫煙のないまちにする

市内全域において歩きタバコ・ポイ捨ての禁止。禁煙治療の積極的な啓発と、市内学校における禁煙教育の推進。